

2017年6月 キューバ医療事情

下記情報は当地報道を抄訳したものです。詳しくは原文をご参照下さい。

【キューバ医療事情】

6月5日【Granma】

“キューバは水質改善努力を継続”

国民への水の供給と必要な水質の保証は、キューバ政府にとって引き続き重要な優先事項である。キューバが深刻な干ばつに直面したにもかかわらず、国立水道局の水道システムによって2015年に比べて2万5400人増加の803万5397人のキューバ人に飲料水を供給した。安定した水の処理はほぼ達成されており、水道水の96%が塩素処理をされている。合計2484件の居住地が国立水道局から精製水を受け取り、漏水を除去し、水道網の復旧を進めている。同様に水の供給に影響のある汚染源を特定、除去する作業を継続している。報告によるとこのような115のプロジェクトが2016年に開始され、問題の26.4%に対処しているが、まだ9件しか完遂していない。特定された汚染源は474件で、キューバの湾岸地帯の浄化の進展も報告されている。13ヶ所は汚染が除去され、42件は排出物を著明に削減している。最近数年で、年間9717トンの有機廃棄物の削減をした。

6月5日【CUBANET】

“キューバでのHIV感染者数”

カリブ諸国内の中でキューバはHIVの症例数が大幅に増加している。10年間有病率が低下した後、カリブ諸国はHIV感染症は9%増加している。これは東ヨーロッパ、中央アジアに次ぐ。感染率は高齢者層で増加しており、成人における新規感染の防止も停滞している。キューバではHIV感染者の67%が治療を受けている。HIV/AIDS患者数やその死亡者数の減少や治療を受ける患者の増加といったすばらしい成功の中、感染者数が増加しているのは、一般にその問題に無頓着になってきていることが指摘される。また感染者数の増加の原因として援助機関からの資金の削減だけでなく政府の支援の削減もあるであろう。

6月7日【CUBANET】

“キューバのHIV患者数は21700人以上”

キューバ政府は2016年キューバではHIVに感染した患者数が21750人に増加したと発表した。このうち19%の患者が抗ウイルス薬の投与を受けていない。キューバは患者の90%が抗ウイルス薬治療を受けるために多大な努力をしている。カリブ海諸国のHIV患者は平均年齢が30歳以上で80%が男性である。過去数年間、キューバは薬の供給が困難な時、治療の中断を避けるためにいつも代替手段

を計画してきた。キューバは WHO の認可を受けているキューバ製と輸入した 5 種類の抗ウイルス薬の併用療法を行っている。

HIV が発見されて 4 年後の 1985 年にモザンビークに 2 年間生活したキューバ人から初めて HIV/AIDS がキューバで見つかった。当初は患者は都市から遠くの施設に収容され、疾患が広がることを防ぐためにいくつかの場合を除いて施設から離れることを禁じられていた。

2015 年キューバは HIV と梅毒において母子感染をなくした世界で初めての国として WHO から認定された。

キューバは現在ハバナの遺伝子工学&生物工学センターで開発された TERA-VAC-VIH ワクチンの試験を行っている。このワクチンは HIV 患者のウイルス量を減少させ、患者の QOL を改善させるよう設計されている。

#### 6月22日【Granma】

“キューバの慣習：薬物に対して容赦しない”

通関のために巧妙に隠されているにもかかわらず、今年最初の 5 ヶ月間で 2016 年の同期間と比べ多くの薬物が押収された。2016 年の 1 月～5 月の間に 30.22kg の薬物が押収されたが、2017 年の 1 月～5 月において 32.59kg が押収された。薬物は主に空路で持ち込まれ、食品や乗客の体内、家電製品の中に入れて運ばれてくる。いくつかの国では大麻のようなものは合法のため、多くの旅行者はキューバに自分が消費するために少量持ち込もうとしたりする。彼らはキューバに持ち込めると思っているかもしれないが、それはできない。彼らには警告と罰金が科せられる。2017 年の来訪者は増加しており、今年 450 万人に達する。しかし薬物政策の強制措置の増加は来訪者の増加とは関係はない。キューバは南北アメリカ大陸地域に位置する地理的な特徴として、この国へ違法物質を持ち込もうとすることを容易にさせる。薬物だけでなく、拳銃や手榴弾、神経毒などあらゆる武器も見つかっている。反革命的な宣伝目的の CD や書籍、ラジオやテレビから録音、録画したものも摘発している。キューバ一般税関は、引き続きこれらの違法な持ち込みに対して働き続けている。

#### 6月23日【Marti】

“ブラジルはハイチにいるキューバ人医師の仕事に対して 2000 万ドルを拠出”

ハイチ首相は本日、ブラジルの保健大臣と社会問題担当大臣が 2000 万ドルの資金を南米諸国に融資する保健協定に調印するためにハイチを訪れたことを歓迎した。首相官邸の声明によると、キューバの医師たちは、三カ国間の協定を通じて、保健プログラムを担当すると述べている。首相はこのプログラムへの遂行に対して資金提供をしてくれたブラジルに対して感謝を述べた。この資金提供はハイチの医療システムを改善し、医療サービスの提供にも役に立つ。このブラジルとキューバとの協定はハイチにとって非常に重要で、ニ-

ズのあるハイチ国民に対して我々は任務を遂行する。

## 6月27日【Granma】

“キューバとロシアは医療・医薬品取引で協議”

ハバナで開催された第一回キューバ・ロシア医療・医薬品二国間ビジネスフォーラムには10社が参加し、ロシア市場に対するキューバ製品の認可、科学的なプロジェクト、技術移転、2国間の合弁事業の設立への支援について協議がなされた。

ロシアのビジネスマンに最新のキューバの医療・医薬品部門の情報を提供し、大学や研究機関との間の規制や法的枠組み内での協力の機会を確認する。

キューバにおける医療や医薬品の生産のために、ロシアは直接外資の投資を行っている。

このフォーラムでは、さまざまな企業間の契約締結に加え、原材料供給業者、機器供給業者、サービスおよびコンサルティング会社も確認された。

キューバ国営企業グループ **BioCubaFarma** のマーケティング・ディレクターは、ロシアは企業の戦略的パートナーであると述べた。

両国は、両国で開催されるこの交流を年1回開催することを目指している。